

# 山形美術館 平成 29 年度事業報告

## 概要

平成 29 年度の公益事業は、「漫画界のレジェンド 松本零士展」を皮切りに、夏に山形新聞・山形放送 8 大事業「日本の現代アートがここにある! 高橋コレクション・マインドフルネス 2017」、秋に 2 年に一度開催している「再興第 102 回院展山形展」、冬には高山辰雄の「聖家族」と家族をテーマとする当館収蔵品を紹介する「家族のかたち 高山辰雄 聖家族」を中心として」を開催した。このうち、「松本零士展」、「高橋コレクション・マインドフルネス 2017」は、「平成 29 年度文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」の助成を受けた「山形県文化芸術創造発信事業」として実施した。さらに山形県民の美術振興を図る 3 県展、収蔵品展事業のテーマ展「吉野石膏コレクション展 印象派からエコール・ド・パリまで」、「ミロ・シャガール 収蔵版画展」と常設展、また美術に関する創作活動を行っている個人・団体に対する 22 の展示施設貸与事業を行った。そのほかキャンパスメンバーズ制度や鑑賞プログラムに継続して取り組んだほか、収蔵品の館外貸出による他機関への協力、大学生の実習受け入れ指導、美術講座などを実施した。また美術館の多様な活用の一環として国連世界観光会議への協力を行った。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は 86,669 人となった。平成 28 年度 102,351 人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で 16,971 人の減少、展示施設貸与事業で 1,289 人の増加、合計で 15,682 人の減少となった。

収益事業では、企画展に合わせたミュージアムグッズの取り扱いを実施した。

法人運営および施設管理では、収蔵品管理のため展示室・収蔵庫の温湿度等の維持管理に努めたほか、多言語音声ガイドの導入により、外国人を含む来館者の利便性の向上を図った。

## 1. 公益事業

### 企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

#### **4月1日 5月14日 漫画界のレジェンド 松本零士展**

『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道 999』などの代表作で知られる松本零士(1938-)氏の 60 年を超える画業を、直筆の漫画原稿やアニメのセル画、立体模型、松本零士氏による各作品についての映像資料など、約 300 点によって紹介した。4 月 1 日と 29 日には松本零士氏による講演会とサイン会、15 日には山形大生による造形ワークショップ「架空の惑星をつくってみよう!」、4 月 22 日、23 日、30 日、5 月 6 日、7 日には「4 次元シアター」の上映、5 月 3 日には山形交響楽団金管五重奏によるミュージアムコンサートなど、多彩な関連事業を実施。キャラクターの衣装を着て写真を撮れるコーナーの設置なども行い、世代や国籍を越えて、夢とロマンを与え続ける松本作品の魅力幅広い来館者層に伝えた。

#### **7月22日-8月27日 日本のアートがここにある! 高橋コレクション・マインドフルネス 2017**

日本を代表する現代美術コレクターで、鶴岡市生まれの精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションによって、1970 年代以降の日本の現代美術の多様な展開を俯瞰した。会場には草間彌生、奈良美智、村上隆、会田誠、チームラボのほか、宮島達男、中山ダイスケ、三瀬夏之介、近藤亜樹ら東北芸術工科大学関係作家と山形出身の梅津庸一らによる、絵画、写真、映像、立体作品 118 点を展示。7 月 22 日には高橋龍太郎氏と出品作家近藤亜樹氏、芸工大学長根岸吉太郎氏と近藤亜樹氏によるオープニング記念トーク、8 月 4 日には中山ダイスケ氏と三瀬夏之介氏によるアーティスト・トーク、8 月 6 日には芸工大松村泰三准教授によるキッズアーティスト・プロジェクト「夢の世界を旅しよう!」、8 月 12 日には三瀬夏之介氏と梅津庸一氏特別対談「東

北画とパーブルーム 構想画について 補講」(司会：黒瀬陽平氏)、さらに担当学芸員によるイチ押しトークを実施。大学と連携し、時代の心を映し出す現代アートの醍醐味を、幅広く県民に訴える機会とした。

### **9月2日-9月18日 第72回山形県総合美術展**

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門に搬入された583点を、能島和明(日本画)、佐藤泰生(洋画)、本郷寛(彫刻)、赤沼潔(工芸)の4氏が厳正に審査。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品を合わせ461点を展示した。4部門には、山形らしい風景や、真面目で力強さを感じさせる作品、自己の内面と素材の効果とを生かしたレベルの高い作品が目立った。高校生や大学生の入選・入賞が見られたほか、県展賞受賞者は各部門ともに初めての方が選ばれた。今年で59回となることも県展には、県内の園児、小中生から13,969点の応募があった。北海道教育大函館校教授・橋本忠和氏が、それぞれの発達段階に応じた子どもたちの見方、考え方がよく表れている点を基準に審査し、3階に入賞・入選789点を展示。出品者の思いがこもった力作に溢れる県美展会場は、多くの県民を対象に秋の芸術シーズンの到来を告げるものとなった。

### **9月23日-10月1日 第42回山形県総合書道展**

山形県内および出身者の書家、書道愛好家から広く作品を公募し開催した。今回は、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・刻字・篆刻の7部門に、高校生から90歳代までの幅広い年代の書家・書道家から、一般公募261点、役員・会友351点を合わせ612点の作品が搬入された。県内の書家・鈴木千岳、青柳祥雲、大越松峰、植松龍祥、高橋鋏崖、齋藤湖舟、野川正廣、我彦芳柳、鴨田香月の9氏による審査の結果、県知事賞など入賞13点、奨励賞15点、褒状30点、入選172点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え538点を展示。漢詩を題材にした作品を中心に、墨の潤濁と余白を巧みに調和させた作品、リズムカルに書かれた現代詩、力強い筆勢や弾力に富んだ線を駆使した作品など、各部門とも充実した内容となった。9月24日には青柳祥雲氏による作品解説会を実施し、若年層や書道初心者らに書道の魅力や作品の良さを知ってもらう機会とした。

### **11月9日-11月21日 再興第102回 院展山形展**

伝統と革新を掲げる国内最大の日本画公募展「院展」巡回展として、9月の本展(東京)で出品された300点の中から、日本美術院同人による作品32点、同人以外を受賞作14点、招待作品3点のほか、入選作品から51点を厳選し、100点を展示した。日本美術院理事長の田淵俊夫をはじめ、下田義寛、小山硬、那波多目功一ら、画壇を代表する作家から、福王寺一彦、大矢紀、川瀬磨士ら山形が生んだ院展作家の流れを受けつぐ作家も含まれた。また、本年は東北芸術工科大学教授の番場三雄氏が同人となって初めての巡回展であり、同校の在校生が2名入選するなど、改めて本県と院展の縁の深さを紹介することができた。11月9日の開展式に引き続き、福王寺一彦、川瀬磨士、番場三雄各氏による作品解説会、12日に山形在住の音楽家によるミュージアムコンサート、18日に馬場三雄氏によるワークショップ「日本画を楽しもう!」、19日に福王寺一彦氏によるギャラリートークとサイン会を実施し、作家の個性あふれる多彩な表現や日本画の技法の紹介を通し、日本画の持つ豊かな文化に触れる機会とした。

### **12月13日-30年1月28日 家族のかたち 高山辰雄 聖家族 を中心として**

吉野石膏コレクションの高山辰雄の代表作 聖家族 の版画・日本画42点を中心に、収蔵品から山形ゆかりの作家による家族のすがたを描いた作品125点を紹介した。椿貞雄が水彩やクレヨン、パステルで描いた妻や娘や孫たち、近岡善次郎の色彩溢れる農婦像、新海竹蔵の娘の髪を結う母の彫刻、昭和40年代の山形の農村を捉えた飛塚英寿の写真など、家族の絆や東北に生きる人々の姿が共感を呼んだ。1月13日にはデュオ「月のカケラ」のアコーディオンとギターによるミュージアムコンサート、21日には山形大学大学院地域教育文化学科との連携によるワークショップ「親子で 聖家族 の服を作ろう!」を実施。時代や地域を超えた普遍的な人間愛や、さまざまな家族のあり方を考える機会とした。また、「YAMAコレ4 やまがた冬の4美術館めぐり」を本展会期に設定し、山寺、天童市内の美術館との連携による観光客らへの周知に取り組んだ。

## 2月23日-3月20日 第52回山形県写真展

山形県写真展は、県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に1967年に第1回展を開催し、今年で52回を迎えた。本展には、16歳から89歳までの500名から2,155点の一般公募作品が搬入。写真家の大西みつづく氏による2日間にわたる公開審査によって、入賞12点、準入賞10点、努力賞9点、入選328点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品、追悼展示など、計385点を展示。写真の場所や被写体の背景を想像させるスナップ写真や、社会とのつながりが感じられる写真、山形の歴史や地域性に溢れる祭事など多彩な写真が並んだ。

## 収蔵品展事業

山形美術館では、日本の美術、山形県関係の美術、フランス近代美術の3分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。これら収蔵品の一部を常設展示しているほか、29年度には以下のテーマ展を開催し収蔵品を紹介した。

## 6月6日-6月25日 吉野石膏コレクション 印象派からエコール・ド・パリまで

吉野石膏株式会社と吉野石膏美術振興財団より当館に寄託されているフランス絵画109点から、ピサロ、シャガール、ユトリロ、藤田嗣治のほか、モネの素描やルノワールとカサットのパステル作品など、印象派、ポスト印象派、エコール・ド・パリまでを中心に優品90点を展示。19世紀から20世紀のフランス近代絵画の多様な世界を紹介した。

## 10月5日-10月9日 ミロ・シャガール 収蔵版画展

当館収蔵の版画より、ホアン・ミロ(1893-1983)の『ひとりごと』21点と、マルク・シャガール(1887-1985)の『ポエム』24点を紹介した。同時代に活躍したミロとシャガールによる版画技法を駆使した豊かな色彩と詩情あふれる世界に触れる機会とした。

## 展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。29年度は、春光会展、県水彩画展、日展山形会展、草月創流90周年記念いけばな展、山形県民ふれあい書道展、樗墨書院展、示現会山形展、山形国際ドキュメンタリー映画祭、北展、毎日書道展東北山形展、水彩人山形巡回展、山形市芸文協総合展、読売書法展東北展、東邦書道会全国展、墨華会書道展、山形大学造形芸術コース卒業修了制作展、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展、税に関する絵はがきコンクール優秀作品展など、22の展覧会を開催した。

## その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

### 1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、昨年度より設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は16校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

### 2. 「YAMA コレ4 やまがた冬の4美術館めぐり」への参加

本年度から山寺後藤美術館、天童市美術館、広重美術館による実行委員会を組織し、「YAMA コレ4 やまがた冬の4美術館めぐり」を実施。本年度は常設展示作品を対象に音声ペンを使った多言語音声ガイド(英・中・日)を導入し、各美術館の魅力の向上と県内外の美術愛好家の周遊を連携して促す取り組みとした。

### 3. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

「没後90年 萬鐵五郎展」(岩手県立美術館、神奈川県立近代美術館、新潟県立近代美術館)、「椿貞雄 没後60年記念」(千葉市美術館)、「浦上父子コレクション展」(岐阜県現代陶芸美術館)、「シャガール 3次

元の世界」(東京ステーションギャラリー、名古屋市美術館、青森県立美術館)、「ピカソと20世紀フランス絵画展」(パレスハウステンボス)、「北斎とジャポニスム」(国立西洋美術館)、「魅惑の江戸絵画展」(致道博物館)、「求道の画家 岸田劉生と椿貞雄」(宮城県美術館、久留米市美術館)、「庄内の美術家たち 秋野松堂」(鶴岡アートフォーラム)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

#### 4. 山形美術館鑑賞プログラムの実施

子どもたちが地域の文化に興味を持ち、実際に体験・参加する取り組みにより、地域への愛着と誇りの醸成を図ることを目的とする山形県の文化芸術体験プログラム支援事業の支援を受けた鑑賞プログラムを継続して実施。小学校児童のほか中学生を対象に、当館収蔵品や企画展を活用した対話型鑑賞プログラムを行い、主体的な学びを養う機会とした。

#### 5. 美術教育普及活動への協力

8月6日に東北芸術工科大学芸術学部総合美術コースの松村泰三研究室とキッズ・アーティスト・プロジェクト「夢の世界を旅しよう!」を実施。また山形青年会議所OBの山形ビューティフルコミッションによる「児童絵画鑑賞プログラム」を2月15日に実施、幼児を対象に美術鑑賞のマナーと絵の見方を体験した。また、来館の児童生徒団体で希望がある場合、適宜館の概要や作品の解説を行なった。

#### 6. 博物館実習生および文化コーディネート実習生の受け入れと指導

博物館実習は、本年度東北芸術工科大学6名、立命館大学1名、計7名をのべ5日間ずつ受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。また山形大学大学院地域教育文化研究科の必修科目である文化コーディネート実習においては、1名をのべ10日間受け入れ、教育普及ワークショップ等の企画運営を通じ、文化振興の実践的な理解とコーディネーター・ファシリテーターとしての資質向上を図る指導を行った。

#### 7. 美術講座の開催

作品に込められた意味や時代背景などを知り、美術を親しむ機会として美術講座を開催した。昨年度に引き続き元木幸一氏(美術史家・山形大学名誉教授)を講師に、「美術で笑う」をテーマに、11月25日、12月2日、9日、16日、23日の計5回開催。3月18日には安發和彰氏(美術史家・聖心女子大学非常勤講師)による特別講座「ピカソ：創造の秘密 山形美術館の《マリ＝テレーズの肖像》から《ゲルニカ》へ」を開催、多方面からの考察を行った。

#### 8. 吉野石膏コレクションの調査

吉野石膏コレクション作品に対する状態調査及び額の改良を森絵画保存修復工房と共同で7月から10月にかけて実施した。作品の安全と来館者のより良い鑑賞の実現に務めた。

#### 9. 国連世界観光会議への協力

県が国連世界観光機関(UNWTO)、観光庁などと共催した「国連世界観光会議」のレセプションが2月2日に当館を会場(ユニークヴェニュー)として開催。山形の雪国文化や食文化の多様な魅力の発信と合わせ、当館収蔵品を紹介した。

#### 10. メセナ事業について

きらやか銀行のメセナ事業を受け、毎週第2・3週の日曜日の午後に小中学生を無料で入館してもらい、年間利用者は103人になった。

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈3件である。新海竹蔵のブロンズ像、日本画家加藤松溪の素描を受贈した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,050件、合計1,555件となった。

## 2. 収益事業

山形城址が眺められる休憩室に有料の飲料自動販売機を設置し、作品鑑賞後に気軽に利用できる空間とした。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連するグッズ、山形ゆかりの作家による工芸品などの販売物を引き続いて取り扱った。

## 3. 法人運営および施設管理

収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の維持管理のほか、展示室内移動パネルのメンテナンスなど、施設の維持管理に努めた。また、山形県が国の「東北観光復興対策交付金」を活用して実施する平成29年度広域周遊インバウンド受入態勢整備事業により、YAMAコレ実行委員会で音声ガイドペンを製作した。

## 4. 成果と課題

平成29年度は、日本を代表する文化となったアニメーションや、当館での新たな分野となる現代アートの大型展開催のほか、「山形県文化芸術創造発信事業」の継続実施、さらに漫画やアニメの展覧会や収蔵品のフランス絵画を活用した自主企画、恒例の県内の美術愛好家を対象とする3県展、また収蔵品展も含めた公益事業を予定通り実施し、前述のとおり各事業の目的を達成できた。また「YAMAコレ4 やまがた冬の4美術館めぐり」による他館との連携や、ホームページでの企画展やイベントなどの情報更新、国連世界観光会議への協力などにより、美術館の多様な活用や広域からの観光客の取り込みを試みた。

今後も引き続き、優れた芸術に触れる場所、県民の創造活動の場として、幅広い年齢層および地域のニーズの把握に努め、企画展の実施ならびに、企画内容・対象者に応じた多様な教育普及事業や、地域機関との連携を図るとともに、効果的な広報活動に努め、地域に親しまれる美術館活動を推進していきたい。さらに整備済の館内表示やホームページの多言語化に加え、外国人向けの館案内パンフレットの作成などにより、インバウンドに対応した環境整備にも取り組んでいきたい。

平成29年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
漫画界のレジェンド 松本零士展	4月1日～ 5月14日	7,761	603	740	1,809	10,913	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、県教委、山形市、市教委、県芸術文化協会、市芸術文化協会、零士社、アートスペース、青幻舎プロモーション	4月1日作家によるトークショーとサイン会、15日山形大学大学院地域教育文化研究科の協力によるワークショップ、4月22,23,30,5月6日、7日NPO法人小さな天文学者の会による4次元宇宙シアター上映、5月3日山形交響楽団メンバーによるミュージアムコンサート。
吉野石膏コレクション 印象派からエコール・ド・パリのま	6月6日～ 6月25日	1,101	195	94	392	1,782	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、吉野石膏株式会社、吉野石膏美術振興財団	印象派の作品から20世紀初頭のエコール・ド・パリの作品、約90点を紹介。
日本の現代アートが ここにある！ 高橋コレクション・ マインドフルネス2017	7月22日～ 8月27日	12,750	1,238	1,921	2,501	18,410	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、山形市教委、県芸術文化協会、山形市芸術文化協会、東北芸術工科大学、高橋龍太郎、高橋コレクション、医療法人こころの会、内田真由美、児島やよい、エヌ・アンド・エー株式会社	7月22日オープニング記念トーク、8月4日出展作家によるアーティスト・トーク、8月6日東北芸術工科大学総合美術コースの協力によるワークショップ、8月12日出展作家による特別対談、7月27日、8月3日、10日、17日副館長イチ押しトーク。
第72回山形県 総合美術展	9月2日～ 9月18日	4,020	126	1,466	1,842	7,454	山美、山新、山放、県美術連盟、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、県芸術文化協会、県造形教育連盟、ぺんてる株式会社	能島和明(日本画)、佐藤泰生(洋画)、本郷寛(彫刻)、赤沼潔(工芸)の4氏による審査。第59回子ども県展を併催。
第42回山形県 総合書道展	9月23日～ 10月1日	307	24	33	1,142	1,506	山美、山新、山放、山形県総合書道会、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、山形県書道連盟、県芸術文化協会	鈴木千岳、青柳祥雲、大越松峰、植松龍洋、高橋嶽崖、齋藤湖舟、野川正廣、我彦芳柳、嶋田香月ら9氏による審査、9月24日青柳祥雲氏ギャラリートーク、10月1日授賞式。
再興第102回 院展山形展	11月9日～ 21日	1,960	158	70	1,154	3,342	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、日本美術院	11月9日オープニング・ギャラリートーク、12日ソプラノ歌手と弦楽四重奏による秋のミュージアム・コンサート、18日同人・番場三雄東北芸術工科大学教授によるワークショップ、19日同人・福王寺一彦によるトーク・サイン会。
家族のかたち 中山辰雄(聖家族)を 心と	12月1日～ 1月29日	886	308	162	686	2,042	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	1月13日アコーディオンとギターデュオによるミュージアム・コンサート、1月21日山形大学大学院地域教育文化学科の協力によるワークショップ。
第52回山形 写真展	2月23日～ 3月20日	1,641	78	105	2,506	4,330	山美、山新、山放、山形県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月2,3日写真家・大西みつぐ氏による公開審査、3月21日授賞式。
企画展 計(A)		30,426	2,730	4,591	12,032	49,779		

[収蔵品展など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
収蔵品展 ミロ・シャガール 収蔵版画展	10月5日～ 10月9日	240	36	7	44	327	山美、山新、山放、山形市	収蔵品よりミロとシャガールの版画集より作品を紹介。

平成29年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
常設展示のみ ・巨匠の広場 ・吉野石膏コレクション室 ・新海竹太郎/竹藏彫刻室 ・長谷川コレクション室 ・彫刻の小部屋	5月17日～ 5月28日	1,384	11	-	667	2,062		日展山形会展
	5月30日～ 6月4日	97	2	-	17	116		
	6月29日～ 7月2日	602	19	80	717	1,418		県民ふれあい書道展
	7月5日～ 7月9日	77	51	3	21	152		
	7月12日～ 7月16日	165	15	19	616	815		示現会
	7月17日	42	1	5	3	51		
	10月10日～ 10月15日	173	65	5	23	266		
	10月18日～ 10月22日	223	10	113	1,798	2,144		毎日書道展
	10月25日～ 10月29日	137	7	98	32	274		
	11月1日～ 11月5日	279	7	31	1,154	1,471		読売書法展
	11月23日～ 12月10日	357	28	21	40	446		
	1月31日～ 2月18日	366	34	57	48	505		
3月24日～ 3月31日	133	10	18	14	175		示現会	
収 蔵 品 展 計 (B)		4,275	296	457	5,194	10,222		

館主催展計(C=A+B)		34,701	3,026	5,048	17,226	60,001		
--------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

[展示施設貸与事業など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
春 光 会 展	5月17日～ 5月21日	794	-	-	-	794	春光会	
山形県水彩画会展	5月17日～ 5月21日	915	-	-	-	915	山形県水彩画会	
日 展 山 形 会 展	5月17日～ 5月28日	1,384	11	-	667	2,062	日展山形会、山形新聞・ 山形放送	
創 琢 書 道 展	6月1日～ 6月4日	585	-	-	-	585	創琢書道会	
草月創流90周年記念 い け ば な 展	6月17日～ 6月18日	1,964	1	-	-	1,965	草月創流山形県支部	

平成29年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形県民ふれあい書道展	6月29日～7月2日	602	19	80	717	1,418	山形県民書道会	
樺墨書院展	7月5日～7月9日	1,096	-	-	-	1,096	樺墨書院	
示現会山形展	7月12日～7月16日	165	15	19	616	815	示現会、示現会山形支部	
北展(会員・会友)	10月11日～10月15日	210	100	42	508	860	東北現代美術協会	
国際ドキュメンタリー映画祭	10月5日～10月10日	2,753	-	-	-	2,753	認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭	
毎日書道展東北山形展	10月18日～10月22日	223	10	113	1,798	2,144	毎日新聞社、毎日書道会	
第19回水彩人山形展	10月25日～10月29日	1,066	-	-	-	1,066	水彩人	
山形市芸文協総合展覧会	10月25日～10月29日	3,135	-	-	-	3,135	山形市、市教委、市芸術文化協会	
読売書法展東北展	11月1日～11月5日	279	7	31	1,154	1,471	読売新聞社、読売書法会	
MOA美術館山形県児童作品展	11月11日～11月12日	869	-	-	-	869	MOA美術館山形県児童作品展実行委員会	
東邦書道会全国展	11月30日～12月3日	646	-	-	-	646	東邦書道会	
墨華会書道展	12月8日～12月10日	972	-	-	-	972	墨華会	
山形大学造形芸術コース卒業修了制作展	1月31日～2月4日	553	-	-	-	553	山形大学地域教育文化学部文化創造学科造形芸術コース	
誠筆書展	2月8日～2月11日	1,027	-	-	-	1,027	誠筆会	
山形デザイン専門学校卒業進級制作展	2月14日～2月18日	552	-	-	-	552	山形デザイン専門学校	
山形県健康福祉祭美術展	2月15日～2月18日	814	-	-	-	814	山形県、山形県社会福祉協議会、山形県老人クラブ連合会	
税の絵はがきコンクール	3月27日～3月31日	156	-	-	-	156	山形県法人会連合会	
展示施設貸与事業計(D)		20,760	163	285	5,460	26,668		

全展覧会 総計 (E=C+D)		55,461	3,189	5,333	22,686	86,669		
-----------------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

## 平成 29 年度新収蔵品リスト

平成 30 年 3 月 31 日現在

### 寄贈

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
加藤松溪	素描(山寺風景) 1		紙・鉛筆	35.6×49.8
加藤松溪	素描(山寺風景) 2		紙・鉛筆	27.0×36.0
新海竹蔵	麒麟	1929	ブロンズ	高 26.0×幅 39.5 奥行 15.8

以上の美術品 3 件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする

## 平成 29 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
ブ ー ダ ン	アブヴィル近くのソム川	長 野 県 信 濃 美 術 館	花ひらくフランス風景画展	4/5-6/25
ル ノ ワ ー ル ユ ト リ ロ	森の散歩道(ル・クール 夫人とその子供たち) 雪の中のムーラン・ド・ ラ・ガレット	練 馬 区 立 美 術 館	19世紀パリ時間旅行－ 失われた街を求めて	4/7-6/15
萬 鉄 五 郎	かなきり声の風景	岩 手 県 立 美 術 館 神 奈 川 県 立 近 代 美 術 館 新 潟 県 立 近 代 美 術 館	没 後 9 0 年 萬 鐵 五 郎 展	4/8-11/28
高 橋 由 一	鮭 寒 河 江 市 隠 像	平 塚 市 美 術 館 足 利 市 立 美 術 館 碧 南 市 藤 井 達 吉 現 代 美 術 館 姫 路 市 立 美 術 館	リアル(写実)のゆくえ	4/8-11/17
椿 貞 雄	落日(代々木附近) など19点	千 葉 市 美 術 館	椿 貞 雄 没 後 6 0 年 記 念	5/25-8/17
葛 飾 北 斎	富 嶽 百 景 102点	す み だ 北 斎 美 術 館	富士を描き分けた絵師 北斎	6/9-8/23
葛 飾 北 斎	北 斎 漫 画 200点	岐 阜 県 現 代 陶 芸 美 術 館	浦上父子コレクション展	7/15-11/13
東 東 洋	青 楓 若 松 若 鹿 図	本 間 美 術 館	開館70周年記念特別展 江戸絵画の魅力	7/16-9/14
ローランサン ヴァン・ドンゲン	小さな天使たち 座る少年	ホ テ ル オ ー ク ラ	チャリティーイベント第23回秘蔵 の名品アートコレクション展 佳人礼讃-うるわしの姿を描く	7/26-9/10
葛 飾 北 斎	富 嶽 百 景 102点	岐 阜 県 現 代 陶 芸 美 術 館	浦上父子コレクション展	8/23-11/13

平成 29 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借受館又は借受者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
シャガール	逆さ世界のヴァイオリン弾き	東京ステーションギャラリー 名古屋市美術館 青森県立美術館	シャガール 三次元の世界展	8/24-
ピカソ など58名	剣 を 持 つ 男 など60点	パレスハウステンボス	ピカソと20世紀フランス絵画展	9/4-11/18
カンディンスキー シャガール	緑 色 の 結 合 夢	Bunkamura ザ・ミュージアム	オットー・ネーベル展	9/15-12/21
ピサロ ドガ	モンフォーコーの冬の池、雪の効果 踊り子たち、ピンクと緑	国立西洋美術館	北斎とジャポニスム	10/6-2/16
狩野探幽 英一蝶 など	龍 図 人物花鳥図 など6点	致道博物館	魅惑の江戸絵画展	10/10-11/24
林 霞峰	湯殿山道中略図	広重美術館	開館20周年記念展 「天童広重」	10/31-12/6
長沢蘆雪 など3名	富士見西行図 など3点	山寺芭蕉記念館	江戸時代の絵画 - 狩野派から文人画・俳画まで	11/25-3/4
葛飾北斎	北 斎 漫 画 人 物 百 態 など23点	致道博物館	笑 い の 絵 画	12/24-3/4
椿 貞雄	落日（代々木附近） など10点	宮城県美術館 久留米市美術館	求 道 の 画 家 岸田劉生と椿貞雄	1/11-
秋野松堂	竹 に 雀 図	鶴岡アートフォーラム	庄内の美術家たち13 秋野松堂	1/18-3/15